



# 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2023.10.24

## 徳島大学連携授業

落ち着いて物事に取り組める季節という事もあってか、学校では10月11月に行事が目白押しとなっています。今月に入ってから、主なものだけでも中学校新人体育大会、小学校陸上運動記録会、ニュージーランドオレワカレッジ校交流、舞台芸術鑑賞、就学児健康診断、公開授業、赤十字合同清掃などが行われました。来月も、かがやき発表会をはじめ、多くの行事が予定されています。学校ではそれぞれの教育的意義を高め、実りある教育活動にしていきたいと考えて取り組んでおります。

19日には、徳島大学理工学部教授の安野先生と学生さん2名に来校いただき、連携授業が行われました。安野先生は、毎年夏に行っているロボットコンテストの「SMART U=15」を主体となって開催されている方です。ご自身の研究のかたわら、科学や工学の楽しさや奥深さを伝えるために、高校や幼稚園にも出前授業を行うなどマルチに活躍されています。私も、連絡を取り合うことがあります。本当にいつもお忙しくされています。今回も、中学生用のスライド資料は、いったん仕上がっていたものを前日の夕方に気付きがあって、当日の午前1時まで手直しされていたとの事です。いろいろな方の、ご努力ご協力のおかげで特色ある教育が成り立っていると感じます。

午前中は中学生を対象に「人間親和型ロボット開発について」と題して、前半は「ロボットとは」を中心に、後半は大学で研究している電動車いすの制御についてお話いただきました。テーマである「人間に親和性のある制御」の具体的な話があり、人の操作と、センサーによるコンピュータの操作のバランス調整のお話は大変興味深かったです。バランスが人の操作に寄りすぎると、動きがぎくしゃくしてしまった実例など、驚きがありました。午後は、公開授業として幼稚園児5名を含む、小学1・2年生を対象に、電気について実験を中心にお話いただきました。一人一人に用意された実験器具を使って、電池を使って電球を光らせる作業に、園児・児童は目を輝かせて活動していました。低年生の子どもたちをうまく指導される大学教授はなかなかいないのではないかと思います。1・2年生の反応が素直で元気が良いので、大変喜ばれ、お褒めの言葉をいただきました。



## インフルエンザ等にお気を付けください

現在市内では、インフルエンザが流行しています。新型コロナウイルスも、ようやく減少傾向になっているとのことですが、まだまだ散見されます。市内の学校でも、インフルエンザによる学級閉鎖などが複数出ているようです。本校でも、感染症に罹患した児童生徒が出ています。また、のどの痛みや鼻水、咳など風邪症状の児童生徒も多く出ています。この3年、風邪症状もほとんど出なかったことを考えると、マスクの効果は大きいものだったのだと感じています。コロナ禍を経て、マスク着用を強要はできなくなりましたが、屋外などの運動場面等を除いて、学校では現在マスクの着用を強く推奨しています。できる範囲でご協力いただくと共に、手洗いやうがい、塾や習い事、人の多い所に行く時の感染症対策など、家庭生活でも対策を講じていただきますようお願いいたします。行事の多い10月11月、全校児童生徒が元気に過ごして、実りの多い秋にしたいと思います。